

保護者のみなさまへ

Regulus2026



長野Regulusは野球というスポーツを通じて、
子どもたちが大きく羽ばたくための土台を作るチームです。

スタッフが最も大切にしている「チームのあり方」とともに、
保護者の皆様が子どもたちにどう向き合っていたか、
私たちの思いをまとめました。

ぜひじっくりお読みいただき、
ご家庭でも共有いただけたら嬉しいです。

チームの土台にあるもの

Regulusは、野球を通じて子どもたちの成長を支えます。

私たちのチームは、単なる野球技術の向上だけでなく、子どもたち一人ひとりの人間的成長を最も大切にしています。

野球というスポーツを通じて、
仲間との絆、挑戦する心、
そして自分自身を高める力を育みます。





2つの願い

子どもたちの人的な成長を促すこと。
そしてその機会をつくること。

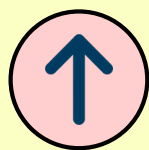
県内から全国、そして世界へ羽ばたく
野球選手を育てること。

5つのチームコンセプト



探究心

なぜ？を追求し、
深く考える力を養う



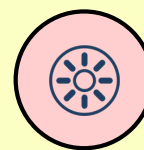
向上心

常に成長を目指し、
努力を続ける姿勢



自主性

自ら考え、行動できる
選手を育てる



創造性

新しい発想と工夫で
課題を解決する



スポーツマン
シップ

仲間や相手を尊重し、
正々堂々とプレーする

各年代で目指すステップ

私たちは目先の勝利だけを追い求めません。

それぞれの発達段階に応じた「挑戦」や「自立」を大切にしています。

小学校2年生まで

～楽しむ・けじめ・成功体験～



- ① 野球に限らず
多くの運動動作を経験する
- ② 決まりや約束を守る
(順番、話を聞く、人の嫌がることをしないなど)
- ③ とにかく心の底から楽しむ
- ④ 多くの成功体験を積む
- ⑤ 「遊び」と「練習」の境界線を
理解し、区別できるようになる

小学校4年生まで

～失敗を愛する・理解・自立の準備～

1

投げ方や打ち方の動作理解し真似ができる

2

基本的なルールを覚え、守ることができる

3

とにかく多くの失敗を経験する

4

うまくいかないことやできないことから逃げずに、挑戦し続けることができる

5

自分の考えを伝えられる一方、他者の考えも尊重できる

6

自分のことは自分でできる
(親離れ・子離れの準備)

小学校6年生まで

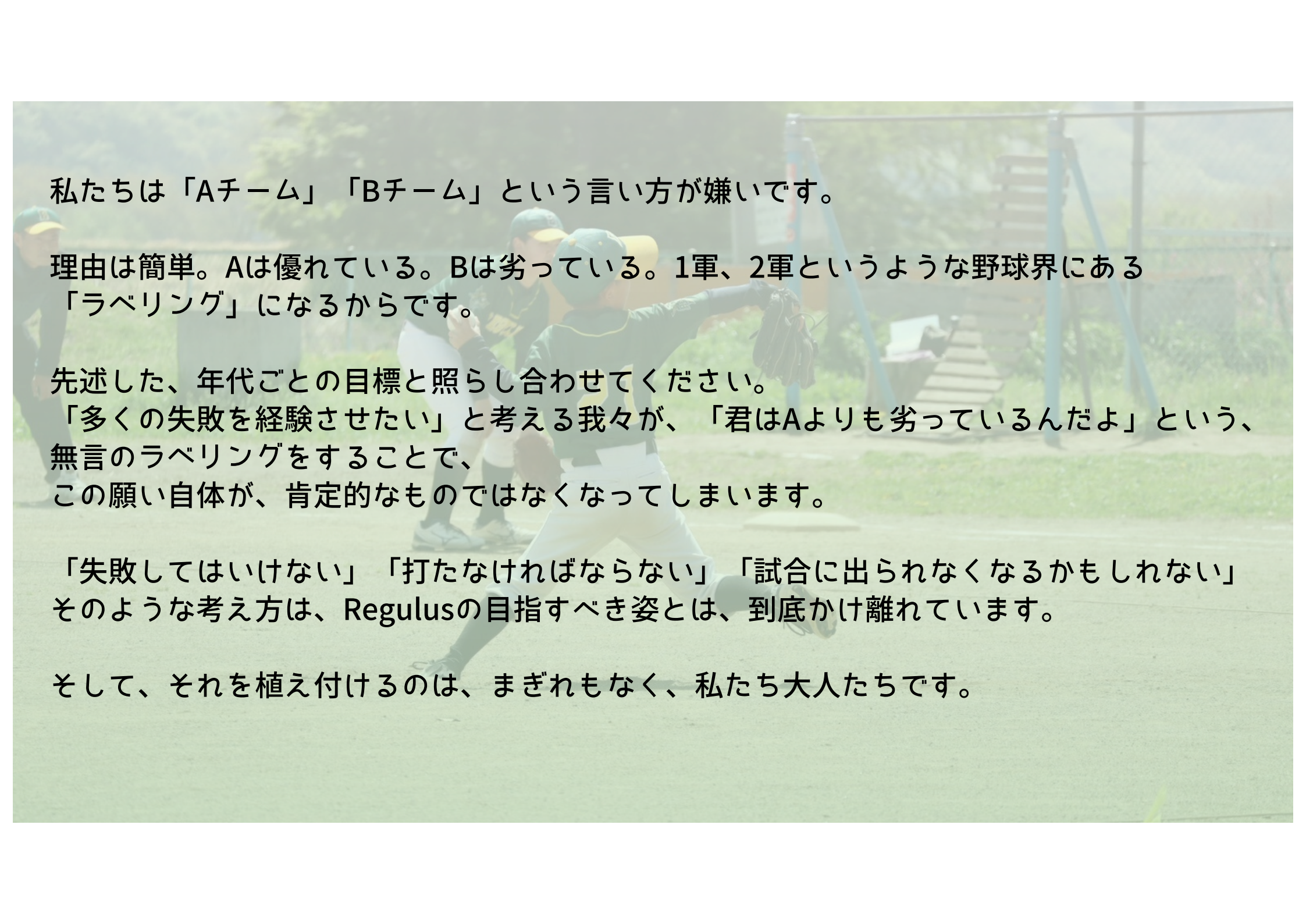
～論理的思考・自己管理・大人の入り口～

- 1 理屈を理解し、
自分なりの解決策を講じることができる
- 2 野球の戦略・戦術への関心と
理解を深められる
- 3 本気で取り組むことの
尊さに気づき、
すべてに臨むことができる
- 4 自分の考えを伝え、
他者を尊重し、集団が進むべき
方向性や推進力に寄与できる
- 5 「大人の入り口の年代」として
自己管理が身についており、
愛のある親離れ・子離れが
ほぼ完了している



私たちは勝利を目指しています。
しかし、勝利を最大の価値とは思っていません。

一番の価値は、「人としての成長」にあると考えています。



私たちは「Aチーム」「Bチーム」という言い方が嫌いです。

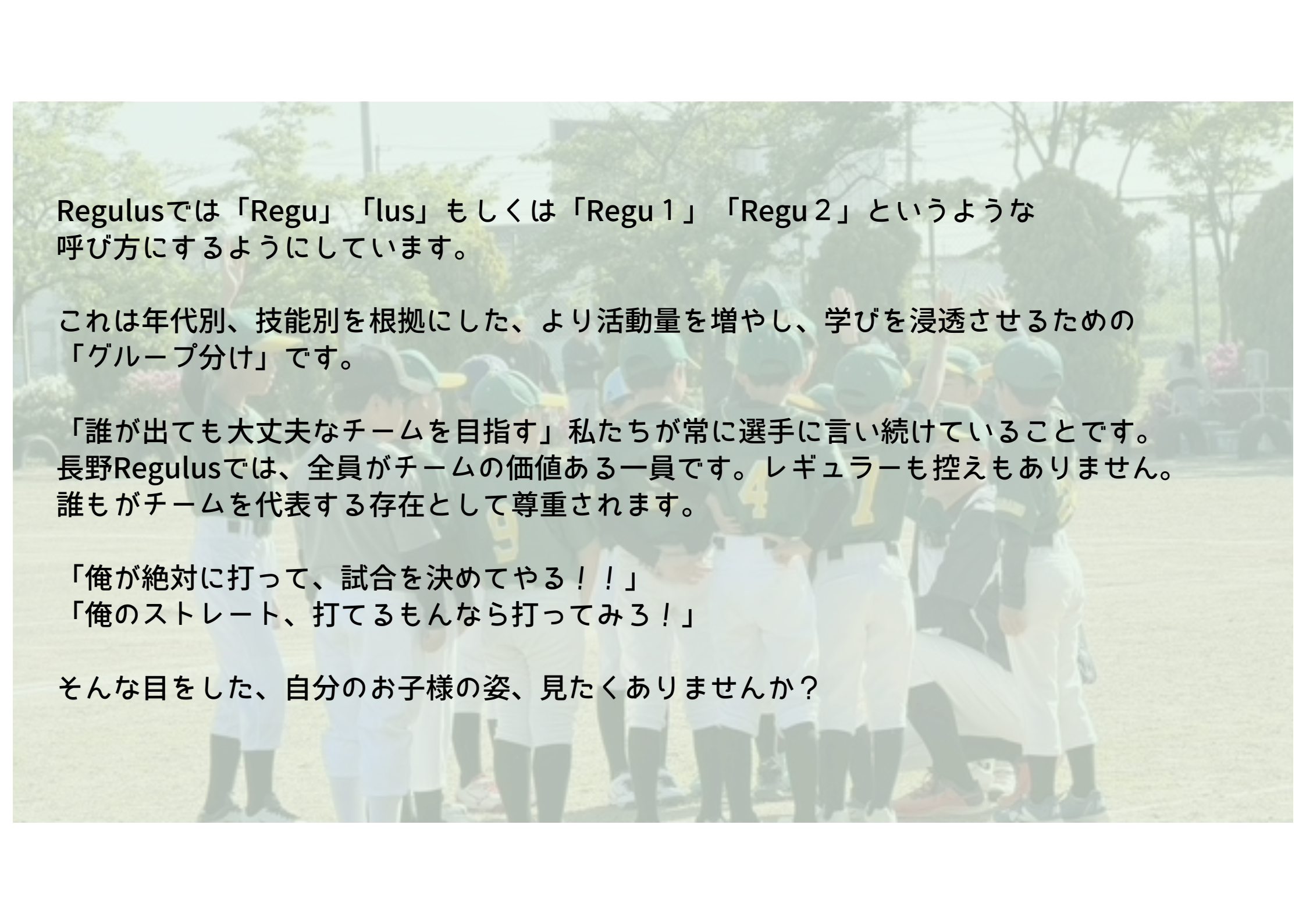
理由は簡単。Aは優れている。Bは劣っている。1軍、2軍というような野球界にある「ラベリング」になるからです。

先述した、年代ごとの目標と照らし合わせてください。

「多くの失敗を経験させたい」と考える我々が、「君はAよりも劣っているんだよ」という、無言のラベリングをすることで、この願い自体が、肯定的なものではなくなってしまいます。

「失敗してはいけない」「打たなければならない」「試合に出られなくなるかもしれない」そのような考え方は、Regulusの目指すべき姿とは、到底かけ離れています。

そして、それを植え付けるのは、まぎれもなく、私たち大人たちです。



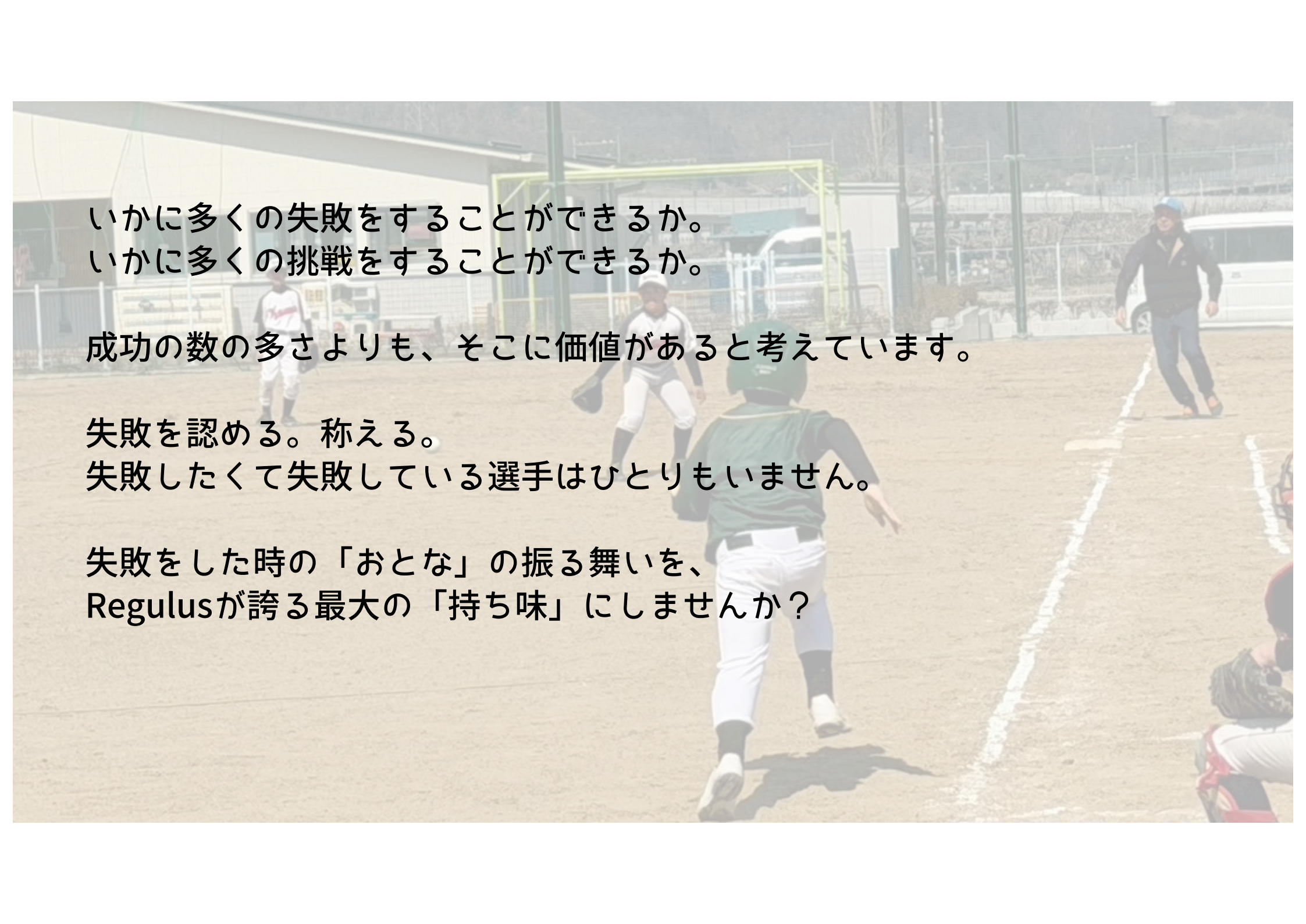
Regulusでは「Regu」「lus」もしくは「Regu 1」「Regu 2」というような呼び方にするようにしています。

これは年代別、技能別を根拠にした、より活動量を増やし、学びを浸透させるための「グループ分け」です。

「誰が出ても大丈夫なチームを目指す」私たちが常に選手に言い続けていることです。長野Regulusでは、全員がチームの価値ある一員です。レギュラーも控えもありません。誰もがチームを代表する存在として尊重されます。

「俺が絶対に打って、試合を決めてやる！！」
「俺のストレート、打てるもんなら打ってみろ！」

そんな目をした、自分のお子様の姿、見たくありませんか？



いかに多くの失敗をすることができるか。

いかに多くの挑戦をすることができるか。

成功の数の多さよりも、そこに価値があると考えています。


失敗を認める。称える。

失敗したくて失敗している選手はひとりもいません。

失敗をした時の「おとな」の振る舞いを、
Regulusが誇る最大の「持ち味」にしませんか？

最後に。

心を込めて、保護者の皆様へのメッセージを書きました。



お子様の成長には大人、特に最も近くで過ごす「親」のすべてが大きく関わります。

皆様と同じく、お子様の成長に携わる者として、また、皆様と同じ「親」として、自分への戒めも含めて、書いてみました。

親が常に持つべき「？」

- 自分が子どもに「できること」は何か？
- 自分が子どもに「したいこと」は何か？
- その中で、子どもが望んでいることは何か？
- 自分の言葉や行動は、「子どもの成長」につながっているか？

お子様がひとりで立った日のことを覚えていますか？
ひとりで歩いた日のことを覚えていますか？

できることが増えると、とても嬉しく、お子様のことを「頼もしく」感じます。

一方で、いろいろなことを一人でできるようになってくると、自分のもとから離れてしまうような「さみしさ」も感じます。

お子様の姿は、私たち「親」や「大人」の鑑です。

親がやるように、お子様はやります。

親の顔色を見て、お子様は振舞います。

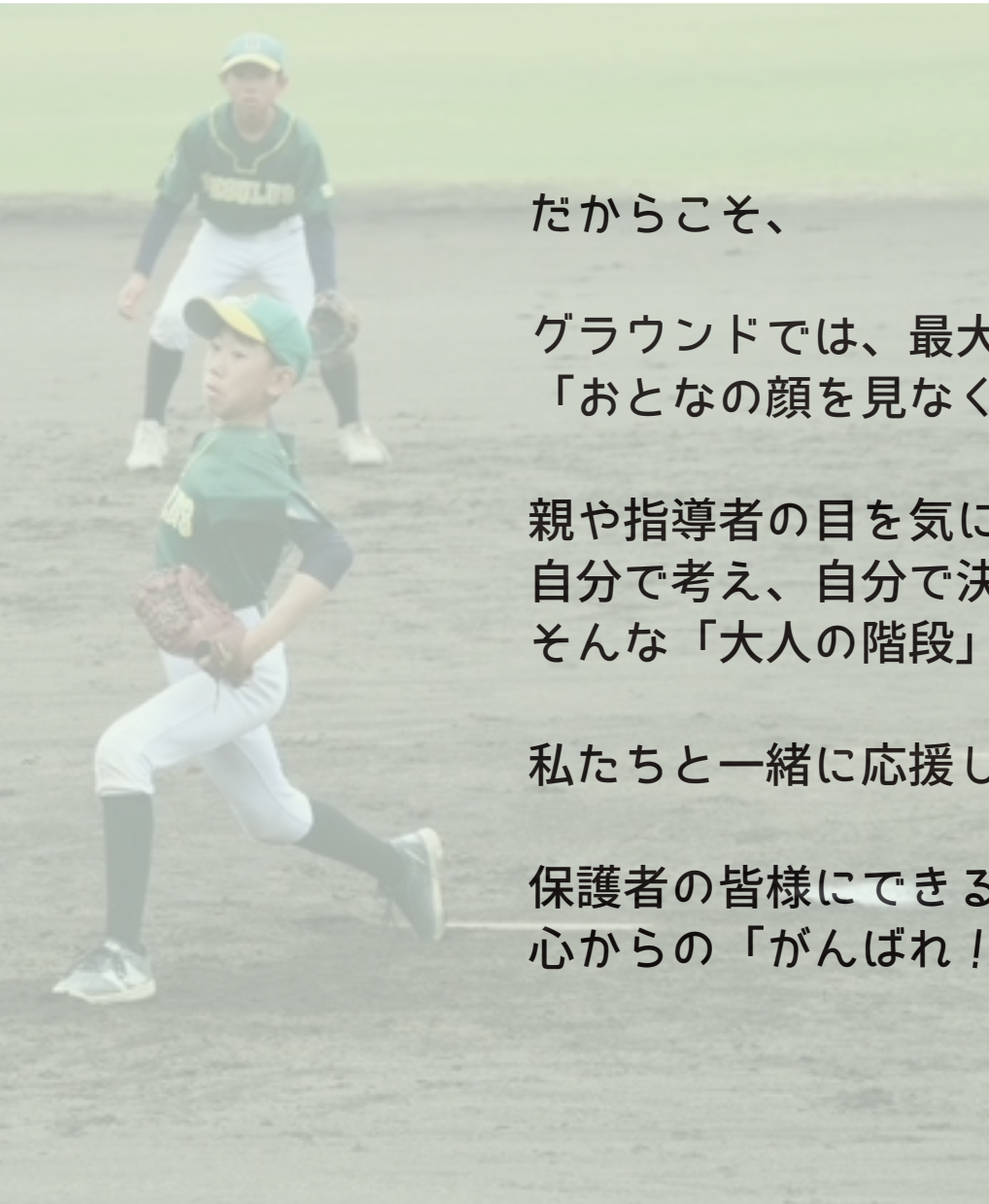
そのことを改めて、心に落とし込みましょう。そして、生活しましょう。

お子様はいつまでたっても、あなたのお子様です。

安心してください。

お子様は必ず、皆様のもとへ帰ってきます。





だからこそ、

グラウンドでは、最大限の愛情をもって、お子様と距離を置きましょう。
「おとなの顔を見なくていいよ」と、私たちは指導しています。

親や指導者の目を気にすることなく、
自分で考え、自分で決断し、自分で行動し、相手に対峙する。
そんな「大人の階段」を一步、登ろうとしているお子様の姿を、

私たちと一緒に応援しませんか。

保護者の皆様にできる最大のサポートは、
心からの「がんばれ！」を伝えることです。

グラウンドに立った時、お子様は「選手」に変わります。

親は何に変わりますか？

「世界一の応援団」がふさわしいと思うのです。

長野Regulus スタッフ一同（文責：大槻 寛）

